

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立鴨沂高等学校 】

1 実践テーマ	【Ⅱ・Ⅳ】
2 実施対象者	京都府立鴨沂高等学校 第3学年3組「京都文化コース」クラス 生徒37名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（京都文化の発信） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	姉妹校であるフランスオクシタニ州モンペリエ市ジュールグード国際高校生との連携や、急増する外国人観光客との交流に向けて、同志社大学留学生への鴨沂高校、京都御苑周辺ガイド体験を実施し、自文化に対する理解を深めるとともに、国際感覚やコミュニケーション能力を磨く。また、成果物や培った手法を用いて「オリンピック・パラリンピック」に向けた、より良い「国際交流の在り方」や「文化発信の在り方」等について提言をする。
5 取組内容	(1) ガイダンス ※以下、ワークショップを「WS」と表記 ① ガイダンスー目的及び年間授業計画についての概説。 ② 概要 ア 鴨沂高校とその周辺のガイドマップを作成し、実際に留学生にガイドを行う。 イ 異文化理解、多文化共生など、国際的な課題について、講師や留学生とともに考える。「難民・移民問題」など ウ 取り組んだ内容の中から、各自テーマを設定し、個人研究論文を作成する。 (2) 「課題設定」 鴨沂高校とその周辺について、紹介・案内したいことについて考える。他の人のアイデアを参考に、各自テーマを絞る。 (3) 「調査・研究」 各自テーマについて調べる。 (4) 「同志社大学留学生との交流」 講師：同志社大学准教授 木谷 真紀子 氏 同志社大学留学生 (アメリカ、コスタリカ、フランス) 各1名 ① 事前学習ー文化発信について。文化交流について。

- ② 講義（木谷氏）
- ③ 留学生より母国の文化紹介
- ④ 高校文化コース生徒によるショートスピーチ
- ⑤ WS—グループごとに留学生とのワークショップ。



(5) 「調査・研究」

- ① 各自テーマについて調べる。
- ② 現地取材

（「鴨沂高校（荒神口校舎）、京都御苑御のフィールドワーク」）

(6) 「まとめ」

調べたものをまとめ、ガイドマップを作成する。（日本語・英語）

(7) 「相互評価」

留学生へのガイドに向けて、各班概要発表後、相互に評価し、内容を修正する。

(8) 「国際理解」

「難民問題、移民問題」「多文化共生」について考える。

WS—「いのちの持ち物けんさ」

国連 UNHCR 協会、学生団体 SOAR

難民支援に携わる学生ボランティアによるワークショップを実施し、国際的な課題について考える。

(9) 「留学生へのガイドに向けて、プレガイド演習」

作成したガイドマップを基に、コースをプレガイドする。

(10) 「留学生へのガイド」（日本語・英語）

① 作成したガイドマップを基に、グループごとにコースをガイドする。

② WS—グループごとに留学生と交流（振り返り）

（フランス、インドネシア、アメリカ、ルーマニア）各1名

（オーストラリア、韓国）各2名

計 8名（同志社大学留学生）



(11) 「相互評価・振り返り」「ガイドマップの修正（日本語・英語）」

(12) 京都文化発信成果物作成（個人研究）

研究論文（個人テーマ、英語サマリー等。）

京都文化に関わる個別テーマに基づいた小論文。個人研究

6 主な成果

- ・文化の祭典でもあるオリパラに向けて、京都文化発信や京都文化交流に関わるプログラムや成果物を提言することができた。
- ・留学生との交流を通して、異文化を深く理解することができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校設定科目・特別コース授業を通じた文化発信に関わる取組。</li> <li>• 同志社大学留学生など、地域の大学等諸機関との連携。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取組の成果の共有化に向けた、発信や提言の為の外部との連携。</li> <li>• 実施にあたる校内指導体制作り、活用事業等予算面などの活用。</li> </ul>
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業や学校行事等を通して、姉妹校との文化交流を実施する。</li> <li>• 同志社大学留学生など、地域の大学等諸機関との連携を更に深める。</li> </ul>